

LASERSAFER は、レーザー機器からの漏れ光等の光量が
安全なレベルにあることを確認するツールです。

- 製造現場の安全確認に最適 ⇒ 作業性の向上につながります。
- 自社製品の安全検査に最適 ⇒ 製品の信頼性がアップします。

下記の3つのステップで、漏れ光等の光量が安全なレベル（JISの「クラス1」）にあることを確認できます。

STEP 1



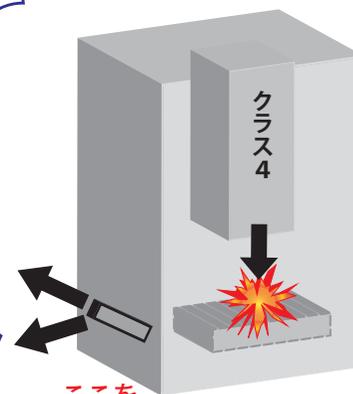
波長、安定性、時間など、
パラメータを入力します。

STEP 2



ソフトウェアの指示通りに、保護
カバーからのレーザーの漏れ光を
測定します。

組込形レーザー機器



ここを
測定！

★ポイント
ワークの出入り口、ケーブル穴、
通気口、カバーの継ぎ目などに
プローブを向けて測定。

STEP 3



結果がパソコンの画面に表示さ
れ、安全性を確認することができ
ます。

結果
JISのクラス1を超え
るレーザー漏れ光は、
検出されません
でした。

laser leak tester

LASERSAFER

安全性の担保と使いやすさ

◆背景

厚生労働省の「レーザー光線による障害防止対策要綱」においては労働者の障害を防止する為にレーザー機器の各クラスに応じた措置基準が定められています。

最も安全なカテゴリーである JIS の「クラス1」の基準を満たせば、機器の取り扱いや現場での運用において負担の軽減につながります（例えばレーザー保護めがねの着用や、立ち入り禁止区域の設定など）。

本製品の特徴

- JIS C 6802：2014「レーザー製品の安全基準」にもとづいています。
- 専用設計の光学系およびソフトウェア、これに実績のある校正されたパワーメーターを組み合わせることで使いやすさと信頼性を兼ね備えています。
- ソフトウェアでクラス1の基準値を算出し、プローブ（光学系およびパワーメーター）で漏れ光の光量を確認します。
- プローブとパソコンとの通信が無線（Bluetooth）なので、測定作業がスムーズにできます。

*この資料は製品のコンセプトを分かりやすく紹介する為のものですが、製品の内容は予告なしに変更されることがあります。実際の仕様については弊社までお問い合わせ下さい。



★Bluetooth 使用

★対応する波長：400nm~1100nm

★CW（連続発振）レーザー及び繰り返し周波数が 1kHz 以上で規則的な発振をするパルスレーザーに対応します。



三田技研有限公司

- 所在地 〒277-0862 千葉県柏市篠籠田 1051-4
- TEL/FAX 04-7146-1353
- メール info@mitagiken.co.jp
- ホームページ <http://www.mitagiken.co.jp>